



第61期 中間報告書

平成19年4月1日～平成19年9月30日



HIROSE
ELECTRIC
CO.,LTD.

ヒロセ電機株式会社



代表取締役社長
中村達朗



代表取締役副社長
串田榮

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

平成19年度中間期（当社第61期中間・平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）の事業の概況をお届けし、ご報告申し上げます。

営業の概況

当上半期のわが国経済は、米国経済が減速するなか、前半は生産の一部に弱さが見られましたが、夏頃よりIT関連部品の在庫循環も回復局面に向かい、新興国向けを中心に輸出は底堅く、景気回復の基調が続きました。

当エレクトロニクス業界におきましても、第1四半期は、一部で在庫調整が続き、第2四半期に海外向けを中心に回復局面に移行しましたが、価格競争の激化、金属材料価格の高騰など、厳しい企業環境でありました。

このような状況のもとで当社グループは、高度化するニーズに適合した製品開発力の強化や新製品の開発、一層の品質の向上に努めるほか、生産効率の促進、海外生産の拡大などを含めたコストの低減および国内外における販路の開拓・販売力の強化に取り組むなど、経営全般にわたり積極的な諸施策を講じてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は588億6千3百万円と前年同期に比べ0.7%の増収、利益面では経常利益197億8千6百万円、中間純利益117億1千3百万円と前年同期に比べそれぞれ7.9%、8.1%の減益となりました。

株主の皆様の間配当金につきましては、経営方針に基づき前年中間配当金より30円増額の一株につき80円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、米国経済の更なる減速や原料価格の高騰、為替動向の急変などが懸念されますが、わが国経済は、景気回復が続くものと期待されております。

当エレクトロニクス業界におきましては、高機能携帯電話を中心とした情報・通信関連とカーエレクトロニクスの分野の拡大やデジタル情報家電の新規需要の進展などが見込まれておりますが、更なる価格競争の激化や金属材料価格の上昇など市場を取り巻く経営環境は、ますます厳しくなると予測されます。

このような環境のなかで当社は、常に最先端の技術を追求し、より効率的な資源の配分と集中化を図り、弛まぬ改革・革新に取り組み、新しいニーズに対応した製品開発力の強化や高付加価値化、生産効

率の促進、品質の更なる向上などコスト競争力を高めるとともに、グローバル化の推進、国内外における販路の開拓等に努め、利益ある成長を目指して経営基盤の強化を図り、価値増大に取り組んでまいり所存であります。

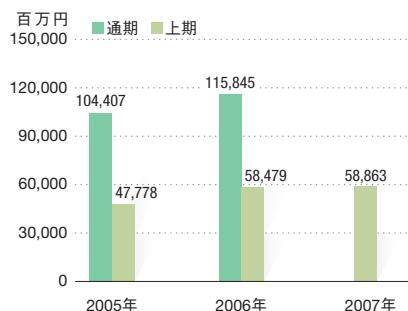
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成19年12月

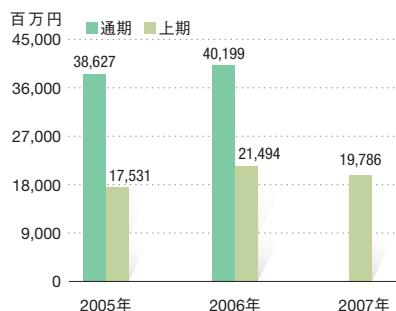
代表取締役社長 中村 達朗
代表取締役副社長 串田 榮

業績ハイライト

■ 売上高



■ 経常利益



■ 中間（当期）純利益



多極コネクタ

当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC（フレキシブル基盤）用コネクタ、PCカード用コネクタ、ナイロンコネクタ等多品種にわたります。

主としてコンピュータおよび周辺端末機器、パーソナルコンピュータ、OA関連機器、通信機器、電話機器、計測・制御機器、FA機器、放送機器、医療機器などの産業用機器のほか、デジタル情報家電、カーエレクトロニクス等の分野にまで幅広く使用されているコネクタであり、エレクトロニクス化の進展、コンピュータ・通信機器を中心とする情報・通信社会の発展とともに、需要の拡大が見込まれております。

（当中間連結会計期間）

この結果、当中間連結会計期間は、米国経済の減速などに伴う高機能携帯電話やデジタル情報家電などの情報・通信関連分野の需要減退などにより、売上高は、486億2千7百万円と前年同期に比べ2.9%の減収となりました。



同軸コネクタ

同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にマイクロ波通信機、衛星通信装置、電子計測器、または携帯電話やPHSなどの移動体通信関連機器、伝送・交換装置などに使用されるコネクタであります。なお、光コネクタもこの中に一括しております。

(当中間連結会計期間)

当中間連結会計期間は、通信インフラ投資や移動体通信関連機器の需要の回復などにより、売上高は77億8千5百万円と前年同期に比べ32.6%の増収となりました。



その他の製品

以上のコネクタ製品以外の製品として方向性結合器、無反射終端器、固定減衰器、サーキュレーター、同軸スイッチなどの高周波デバイス製品、さらに電子医療機器として開発した低周波治療器ならびにコネクタ用治工具類を一括しております。

(当中間連結会計期間)

当中間連結会計期間の売上高は、24億5千万円と前年同期に比べ3.3%の減収となりました。



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	(平成19年9月30日現在)	(平成18年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	191,058	186,230
固定資産	82,189	78,259
有形固定資産	23,706	20,421
無形固定資産	2,385	2,968
投資その他の資産	56,096	54,868
資産合計	273,247	264,490
負債の部		
流動負債	29,707	29,893
固定負債	3,288	5,207
負債合計	32,995	35,100
純資産の部		
株主資本	235,284	224,984
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	14,372	14,370
利益剰余金	231,016	212,735
自己株式	△19,509	△11,525
評価・換算差額等	4,968	4,406
純資産合計	240,252	229,390
負債及び純資産合計	273,247	264,490

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)	(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)
売上高	58,863	58,479
売上原価	31,096	28,738
売上総利益	27,767	29,741
販売費及び一般管理費	9,277	9,388
営業利益	18,489	20,352
営業外収益	1,304	1,153
営業外費用	7	12
経常利益	19,786	21,494
特別損失	144	131
税金等調整前中間純利益	19,642	21,363
法人税、住民税及び事業税	7,907	8,431
法人税等調整額	21	188
中間純利益	11,713	12,743

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)	(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,337	11,758
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,158	△34,623
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,898	△2,492
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	188
現金及び現金同等物の増減額	△1,679	△25,169
現金及び現金同等物の期首残高	124,483	143,901
現金及び現金同等物の中間期末残高	122,804	118,731

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：百万円)

項 目	株 主 資 本					評価・換算差額等	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計		
平成19年3月31日残高	9,404	14,370	222,222	△11,550	234,446	5,304	239,750
中間連結会計期間中の変動額							
剰余金の配当			△ 2,919		△ 2,919	—	△ 2,919
中間純利益			11,713		11,713	—	11,713
自己株式の取得				△ 7,990	△ 7,990	—	△ 7,990
自己株式の処分		2		31	33	—	33
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額 (純額)					—	△ 336	△ 336
中間連結会計期間中の変動額合計	—	2	8,794	△ 7,958	838	△ 336	501
平成19年9月30日残高	9,404	14,372	231,016	△19,509	235,284	4,968	240,252

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間個別財務諸表

中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成19年9月30日現在)	前中間期 (平成18年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	133,546	134,845
固定資産	42,052	42,328
有形固定資産	11,708	8,816
無形固定資産	1,285	1,673
投資その他の資産	29,058	31,838
資産合計	175,599	177,173
負債の部		
流動負債	16,810	16,505
固定負債	644	2,873
負債合計	17,454	19,379
純資産の部		
株主資本	154,748	154,476
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	14,372	14,370
利益剰余金	150,480	142,227
自己株式	△19,509	△11,525
評価・換算差額等	3,396	3,318
純資産合計	158,144	157,794
負債及び純資産合計	175,599	177,173

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(単位：百万円)

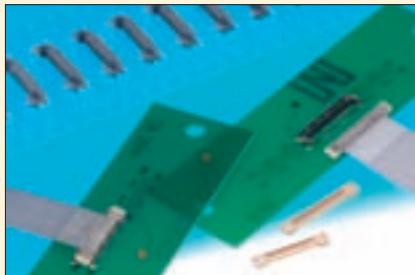
科 目	当中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	前中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)
売上高	55,422	55,530
売上原価	36,469	37,093
売上総利益	18,952	18,436
販売費及び一般管理費	7,419	7,209
営業利益	11,532	11,227
営業外収益	2,770	2,362
営業外費用	1,001	851
経常利益	13,301	12,738
特別損失	108	107
税引前中間純利益	13,193	12,631
法人税、住民税及び事業税	5,541	5,213
法人税等調整額	△124	△58
中間純利益	7,776	7,476

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

新製品の紹介

当社は毎年多くの新製品を市場へ供給いたしておりますが、その中から一部の製品シリーズについてご紹介いたします。

DF38



携帯電話・DVC等の回転ヒンジ用として、また、ヒンジ接続のノイズ対策用として開発した0.3mmピッチの省スペースタイプの細線同軸コネクタです。

HR34B



工作機械等に使用され、バイオネットロックを採用し嵌合操作を容易にし、防水性の優れたコネクタです。

FH36



コネクタ高さ1.0mmMAXと超薄型設計、実装奥行きも2.7mmと徹底した省スペース化を行ったFPCコネクタです。

FH35



省スペース化を実現するとともに、FPCの保持力を従来品と比べ大幅にアップした、高信頼性の0.3mmピッチのバックフリップタイプのFPCコネクタです。

ZX



携帯端末機器用のUSBインターフェイスに使用する、Micro-USB規格対応コネクタです。(Micro-USBは、当社が開発、提案をし、USB委員会にて規格化されたものです)

●ヒロセ技術展開催

本年9月13日（木）から14日（金）の2日間にかけて、東京・渋谷のセルリアンタワー東急ホテルにおいて、「ヒロセ技術展 connection70+」を開催しました。

この技術展では、「分野別」・「用途別」などにコーナーを分け、当社の新製品を展示するとともに、製品のプレゼンテーションを行い、ご好評いただきました。また、技術セミナーを同時開催し、先端技術の動向についてのプレゼンテーションを行い、来場者から高い関心を集めました。



グループネットワーク

- 海外拠点
(支店・生産子会社・販売子会社・関連会社)
- 海外代理店
- 主な輸出先



●本社



●横浜事業所



●営業本部



●インドネシア
P.T. HIROSE ELECTRIC
INDONESIA



●中国
広瀬電機（東莞）有限公司



●マレーシア
HIROSE ELECTRIC
MALAYSIA Sdn.Bhd.

- 本 社 東京都品川区大崎五丁目5番23号
- 営 業 本 部 東京都品川区大崎五丁目1番11号
- 営 業 所 等
- 立川営業所・大阪支店
- 名古屋営業所
- 海 外 支 店
- 香港支店・シンガポール支店
- 深圳事務所・北京事務所
- 技 術 本 部
- 横 浜 事 業 所 横浜市港北区菊名七丁目3番13号
- 製 作 本 部
- 横 浜 事 業 所 分 室 横浜市港北区新横浜二丁目15番10号

- 子 会 社 (国内)
- 東北ヒロセ電機株式会社 (岩手県宮古市)
- 郡山ヒロセ電機株式会社 (福島県郡山市)
- 一関ヒロセ電機株式会社 (岩手県一関市)
- H S T 株 式 会 社 (神奈川県横浜市)
- (海外)
- HIROSE ELECTRIC (U.S.A.) ,INC. (アメリカ)
- HIROSE ELECTRIC GmbH (ドイツ)
- HIROSE ELECTRIC UK LTD. (イギリス)
- HIROSE ELECTRIC EUROPE B.V. (オランダ)
- HIROSE ELECTRIC MALAYSIA Sdn. Bhd. (マレーシア)
- 台廣電子股份有限公司 (台湾)
- P.T. HIROSE ELECTRIC INDONESIA (インドネシア)
- 廣瀨香港有限公司 (香港)
- 広瀬電機（東莞）有限公司 (中国・東莞)
- 博瀨電機貿易（上海）有限公司 (中国・上海)
- 関 連 会 社
- HIROSE KOREA CO., LTD. (韓国)
- 威海広瀨高麗電気有限公司 (中国・威海)

会社の概況

会社概要 (平成19年9月30日現在)

商号 ヒロセ電機株式会社
 設立 昭和23年6月15日
 従業員 748名 (パートタイマーを除く)
 資本金 9,404,379,401円

株式の状況 (平成19年9月30日現在)

発行済株式総数 38,423,001株
 (自己株式1,597,735株を除く。)
 株主数 5,441名

取締役および監査役 (平成19年9月30日現在)

代表取締役社長	中村 達朗
代表取締役副社長	串田 榮
常務取締役	杉野 貢
取締役	森元 泉
取締役	吉村 義和
社外取締役	児島 仁
常勤監査役	松原 俊雄
監査役	廣橋 昌雄
社外監査役	関根 榮郷
社外監査役	比嘉 高

大株主 (上位10名)

株主名	持株数
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	43,400
財団法人ヒロセ国際奨学財団	28,550
ザチェースマンハッタンバンクエヌエイロンドン	27,637
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	19,550
広昌産業株式会社	13,941
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,237
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,761
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	8,162
広瀬 節子	7,948
広瀬 三知子	7,847

(注) 上位大株主10名のほか、当社が自己株式15,977百株を保有しております。

(注)

1. 取締役 児島 仁氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役 関根榮郷、同 比嘉 高の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

会計監査人 あずさ監査法人

株式分布

所有者別分布状況



株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 毎年6月開催
- 基準日** 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
(そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。)
- 単元株式数** 100株
- 公告方法** 当社のホームページに掲載します。
(<http://www.hirose.co.jp/investor/index.htm>)
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
- 株主名簿管理人** 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付および
電話照会先** 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(住所変更等用紙のご請求)
☎ 0120-175-417
(その他のご照会)
☎ 0120-176-417
- インターネット
ホームページURL** <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
- 同 取 次 所** 住友信託銀行株式会社
本店および全国各支店



ホームページ

<http://www.hirose.co.jp>

